

「ボージプリー文化圏の婚姻儀礼と民俗歌謡（その1）」

八木 祐子

本稿は、筆者が2018年に調査をおこなった婚姻儀礼のさいに収集した民俗歌謡の事例報告である。筆者は、これまで、北インドの儀礼や民俗歌謡に関して、様々な論文を発表してきた。近年では、アザムガル県の婚姻儀礼について、1989年の民俗歌謡を中心に経済自由化が進んだ2002年以降の民謡についても紹介した [八木 2015]。だが、これまでは、短期間のフィールド・ワークに留まっていたため、婚姻儀礼における民俗歌謡の全体像については調査できなかった。2018年2月に、花嫁側の婚姻儀礼についてひととおり参与観察し、そのさいの民俗歌謡も録音し収集できる機会があったので、その内容について数回に分けて報告したい。

まず、調査地域の概要について述べておきたい。筆者が1983年からフィールド・ワークをおこなってきた地域は、北インド、ウッタル・プラデーシュ (Uttar Pradesh) 州東部のアザムガル (Azamgarh) 県にある。ヒンドゥー教の聖地、ワーラーナシー (Vārānāsī) から、北に100キロほどいったところにあり、ボージプリー (Bhojipuri) というヒンディー語の東部方言を話す地域に属している。ボージプリー語圏は、本論でとりあげる婚姻儀礼だけでなく、季節の歌や労働の歌、出産儀礼にうたう歌など、様々な民俗歌謡がうたわれる地域として知られている [八木 1990a]。主要な産業は農業で、コメ、コムギ、マメ類をつくり、サトウキビからつくった黒砂糖を市場で売って、現金収入を得ている。主に調査をおこなってきたS村の村民は、すべてヒンドゥー教徒であり、牛飼いや牛乳販売などを伝統的な職業とするヤーダブ (Yādav) と、皮革処理をおこなうチャマール (Chamār) が多くを占めている。現在では、いずれも農業労働に従事しているものがほとんどである。ヤーダブは、この地域で、近年、社会・経済的に主要な地位を占めている。本論では、ヤーダブの婚姻儀礼のさいに、女性たちがうたう民俗歌謡を紹介する。当該地域の先行研究については別稿を参照していただきたい [八木 2015]。

紙数の関係から、婚姻儀礼の詳しい過程や儀礼の分析そのものについては、別稿 [八木 1991] を参照していただき、ここでは、代表的な女性の儀礼を紹介するにとどめたい。また、本論で紹介する民俗歌謡は、ボージプリー語のデーヴァナーガリー表記及びそのアルファベット、日本語訳という形で事例を掲載する。なお、本報告は、文部科学省の科学研究費基盤研究C「北インド、ボージプリー文化圏の民謡に関するジェンダー分析」(課題番号17K02032)の助成を受けており、本報告は、その成果報告の一部である。

1. 婚姻儀礼の概要

ヒンドゥー社会では、花嫁の父親は、娘が初潮を迎える前に結婚をさせるのが理想とされているが、1980年代頃は、花嫁が15～16歳頃、花婿が18～19歳頃に婚姻がおこなわれていた。2020年現在では、とくに女性の教育レベルが上昇するとともに、婚姻年齢もあがり、農村部においても、花嫁は

18歳以上の結婚がふつうになっている。婚姻儀礼は3段階あり、いずれも花嫁の家でおこなわれる。まず、シャーディー (Śādī) という実質的に結婚が成立する儀礼がおこなわれ、1週間つづく。シャーディー儀礼は、2月から5月にかけておこなわれるが、一番暑く農閑期にあたる5月頃におこなわれることが多い。ついで、その1~2年後に、ゴウナー (Gaunā) がおこなわれ、花嫁が花婿の家に3日間だけ滞在し、実家に戻る。いわば顔見せ的なもので、だいたい2~3月におこなわれることが多い。さらに、半年から1年後、ドーゲー (Doge) がおこなわれ、花嫁と花婿が結婚生活を始める。2~3月、10月~11月におこなわれることが多い。

ここでは、もっとも主要な儀礼であるシャーディーをとりあげる。これらの様々な儀礼ごとに、婚姻儀礼の民俗歌謡 (Vivah Kā Git) が、主に既婚女性たちによってうたわれる。1日目~6日目は、花嫁、花婿双方の家で儀礼がおこなわれるが、この期間のほとんどで、既婚女性が儀礼の担い手となる。7日目~8日目は、花嫁の家で儀礼がおこなわれ、花婿、花婿側の男性親族、村の男性、子どもたちの花婿行列 (barataī) が花嫁の家に向かう。花婿側の女性は、花嫁の家に行かない。8日目に花婿一行が自分の村に戻る。花嫁側は、7日目、8日目の儀礼の費用を負担し、数百人分の食事、娯楽 (映画、ヒジュラによる踊り) を用意する。

2. 1日目の民俗歌謡

ここから、実際に、サンギータという女性のシャーディー儀礼のさいに、うたわれた民俗歌謡を具体的に紹介していきたい。サンギータのシャーディー儀礼は2018年2月11日から19日にかけて、彼女の実家でおこなわれた。ヒンドゥー暦では、フアグン月にあたり、婚姻儀礼の多い季節である。サンギータは高卒の21歳で、3つ年上で自営業の花婿、スシル・クマールと結婚した。1日目には、ウルド・チャーワル・チャーナーという儀礼がおこなわれたが、その前後にうたわれた民俗歌謡も含めて、紹介する。

(1) 花婿側の男性にダヒーを食べさせるときの民俗歌謡

まず、事例1~3は、花婿側の男性2人が、13時頃に、花嫁サンギータの家にお祝いの品をもってきたときにうたわれた歌である。花婿側の男性2人が吉兆とされるダヒー (ヨーグルト) を食べるときに、花嫁の義理の姉にあたる女性たちがうたった。たびたび歌詞に登場するナウは、ボージプリー一語で床屋カーストのことで、婚姻の仲介役を務めたり、事例1のように、吉兆なハルディ (ターメック) を届けて、結婚を知らせる役目をするなど、婚姻儀礼とは関わりが深い。事例2や事例3は、ガーリー (gālī) と呼ばれる花婿側の男性を嘲る歌であり、婚姻儀礼のなかでも、花嫁側の女性たちによってうたわれた。ガーリーについては、別稿 [八木 1992, 2008] を参照していただきたい。

(事例1)

आए शुभ के रे नाउवा नउवा पापा जे प्रेम से बैठाए जी
लाए शुभ के रे हरदिया हरदिया मम्मी से हृदय लगाए जी ।
आए शुभ के रे नउवा चाचा जे प्रेम से बैठाए जी

लाए शुभ के सेन्दुरवा चाची जे हृदय लगाए जी ।
आए शुभ केरे नउवा भैया जी प्रेम बैठाए जी
लाए शुभ के सोपारी भाभी जी हृदय लगाए जी ।

āe śhubh ke re nauvā nauvā pāpā je prem se baiṭhae jī
lāe śhubh ke re haradiyā haradiyā mammī se hṛdaya lagāe jī ।
āe śhubh ke re nauvā chāchā je prem se baiṭhāe jī
lāe śhubh ke senduravā chāchī je hṛdaya lagāe jī ।
āe śhubh ke re nauvā bhaiyā jī prem baiṭhāe jī
lāe śhubh ke sopārī bhābhī jī hṛdaya lāgāe jī ।

मेदेतई (Śhubh, 吉) के, नाउ (床屋) के आमेस। (अके अके) पापा के आमे मेरे सुवारे मशे।

(नाउ के) मेदेतई के, हारुदेई (तारुमेरुकु) के मेरे आमेस। (अके अके) मामी (अमेरे) के अके आरे (अके आरे मशे)।

मेदेतई (Śhubh, 吉) के, नाउ (床屋) के आमेस। (अके अके) च्याच्या (अके आके आके) के आमे मेरे सुवारे मशे।

(नाउ के) मेदेतई के, शिन्दुआल के मेरे आमेस। (अके अके) च्याची (अके आके आके) के अके आरे (अके आरे मशे)।

मेदेतई (Śhubh, 吉) के, नाउ (床屋) के आमेस। (अके अके) बायार (अके अके) के आमे मेरे सुवारे मशे।

(नाउ के) मेदेतई के, सपारी (पारुन आरे आरे) के मेरे आमेस। (अके अके) बाबी (अके अके आके आके) के अके आरे (अके आरे मशे)।

(अके अके 2)

अउवा अउवा मति कर नउवा
तारे बाहिनी के लैगै सपारपट्टी के नउवा अउवा हम देवै ।
अनिये अनिये मति करे नउवा सारे
तारे बाहिनी के लैगयल सपारपट्टी के अनिये अनिये हम देवै ।
धोवी धोवी मति करे नउवा सारे
तोहरे बुआ के लैगयल सपारपट्टी के धोवी धोवी हम देवै ।

jhauvā jhauvā mati kara nauvā
tore bahinī ke laigai sipārapattī kai nauvā jhauvā ham debai ।
dhaniyā dhaniyā mati karā nauvā sāre
tore bahinī kai laigayal sipārpaṭṭī kai baniyā dhaniyā ham debai ।

dhobī dhobī maṭi karā nauvā sāre

tohare buā ke laigayal sipārpaṭṭī kai dhobī dhobī ham debai ।

いつもジャウア、ジャウア（ケンカ）しないでください、ナウ（床屋）よ。

あなたのバヒニー（妹）を連れて行きます、シパルパッティ村のナウと一緒に。私はジャウアをあげます。

いつもダニヤ、ダニヤ（コリアンダー）と言わないでください、ナウ、サーレ（妻の兄弟、嘲りの言葉）よ。

あなたのバヒニー（妹）を連れて行きます、シパルパッティ村のパニア（商人）と一緒に。私はダニヤをあげます。

いつもドービー、ドービー（洗濯屋）と言わないでください、ナウ、サーレ（妻の兄弟、嘲りの言葉）よ。

あなたのプーア（父の妹）を連れて行きます、シパルパッティ村のドービーと一緒に。私は（別の）ドービーをあげます。

（事例 3）

दही खायला नउवा सारे शुभ के घड़ी दही खायला ।

दही जे धरै कटोरी मे तोहरी बहिनी मरावै खोरी मे दही खायला ।

दही खायला नउवा सारे शुभ के घड़ी दही खायला ।

सुना नउवा जे बाटै समधी के दीहा समुझाय जी ।

थोड़े बरतिया जे ले अइहै रण्डी के काम इहा नाही जी ।

dahī khāyalā nauvā sāre śubha kai ghaṛī dahī khāyalā ।

dahī je dharai kaṭorī me toharī bahinī marāvai khorī me dahī khāyalā ।

dahī khāyalā nauvā sāre śubha kai ghaṛī dahī khāyalā ।

sunā nauvā je bāṭai samadhī ke dīhā samujnāya jī ।

thoḍai baratīyā je le aihai raṅḍī kai kām ihā nāhīn jī ।

ダヒー（ヨーグルト）を食べてください、ナウ、サーレ（妻の兄弟、嘲りの言葉）よ。めでたい（Śhubh、吉）時間です。ダヒーを食べなさい。

ダヒーがあります、カトリ（小皿）に。あなたのバヒニー（妹）がセックスしています、家の間の小道で。ダヒーを食べなさい。

ダヒー（ヨーグルト）を食べてください、ナウ、サーレ（妻の兄弟、嘲りの言葉）よ。めでたい（Śhubh、吉）時間です。ダヒーを食べなさい。

きいて、ナウよ。サマディー（花婿の父）のところに行って伝えてください。

少しのバラティ（花婿行列）を連れてきてください、ランディー（セクシュアルな踊り子）の仕事は

ここにはないです。

(2) ウルド・チャーワル・チャーンナーの儀礼のさいにうたわれる民俗歌謡

ウルド・チャーワル・チャーンナーは、吉兆とされるウルド豆と米を、箕（ふるい）で、振り分けるもので、婚姻儀礼において、良いものだけが残るようにいう意味でおこなわれる。そのさいに、事例 4～事例 8 の民謡を花嫁の女性親族、近所の女性たちがうたった。事例 4 は、ドゥルガー女神への信仰をうたっているが、婚姻儀礼のおこなわれるファグン月は、シヴァラートリーというシヴァ神の誕生日を祝う祭りもおこなわれるため、シヴァ神妃であるドゥルガー神に関わる民謡も多いうたわれる。事例 6 は、婚姻儀礼で、たびたびうたわれる非常にめでたい歌である。パンディット（司祭）、コイリー（油売りカースト）など、婚姻に関わる様々なカーストとその仕事があたわれている。

(事例 4)

माता लहर लहर करै पात तौ निबिया सोहावन ।
मइया सात ही पेड चमेलिया लवगिया कै डरिया ।
मैया वही तरे पलंग नावै सातो रे बहिनी पवड़े ।
केथुआ कै बाती पलंग केथुआ के री पलंग बिनावलि तौ दरिया बिछावै ।
मैया केथुआ के बधवा बिनावलि निदरिया भल आवै ।
नीबिया के काठ कै पलंग बाटै हो लागल वनचन हो ।
देवीमाता फूलवा के वधवा बिनावलि निदरिया भल आवै ।
मैया जल्दी से तुहू चलि आवा देवीमैया पौढ़ैनी हो ।
भैय चढ़ी पउवा फूलवा छितरावा दुर्गा हो मैय पौढ़ै हो ।
नगर नगर कै सोनरा चढ़ि आवा हो ।
भइया चढ़ि पउवा घुघुरु लगावा अकोतरि मैया पौढ़ै हो ।
नगर नगर कै मलिया हो चढ़ि आवा न हो ।
भइया चारो कोने फूलवा छितरावा सातो हो बहिनी पौढ़ै हो ।

mātā lahar lahar karai pāt tau nibīyā sohāvan ।
maiya sāt hī peḍ chameliyā lavangiyā kai dariyā ।
maiya vahī tare palang nāvai sato re bahinī pavaḍai ।
kethuā kai bāṭī palang kethuā ke rī palang bināvali tau dariyā bichāvai ।
maiya kethuā kai badhavā bināvali nidariyā bhal āvai ।
nībiyā ke kāṭh kā palang bāṭai ho lāgal vanachan ho ।
devīmātā phūlavā ke badhavā bināvali nidariyā bhal āvai ।
maiya jaldī se tuhū chali āva devīmaiya pauṛhainī ho ।
bhaiyā chaṛhī pauvā phūlvā chhitarāvā durgā ho maiyā pauṛhai ho ।
nagar nagar kai sonarā chaṛhī āvā ho ।

bhaiyā chaṛhi pauvā ghughuru lagāvā akotari maiyā pauṛhai ho ।

nagar nagar kai maliyā ho chaṛhi āvā na ho ।

bhaiyā chāro kone phūlavā chhitarāvā sāto ho bahinī pauṛhai ho ।

マーター（ドゥルガー女神）が風に揺れています、美しいニーム（インドセンダン）の葉のうえで。
マイヤー（ドゥルガー女神）が7本のチャメリーの木、そしてラワング（クローブ）の小枝に（揺
れています）。

マイヤーよ、その木の下にベッドを置いています、7人の姉妹（の女神）が眠っています。

どんなものでつくっていますか、どんなもので編んでいますか、ダリー（敷物）をしいてください。

マイヤーよ、どんなロープでつくっていますか、とても良く眠れます。

ニームの枝でつくったベッドです。ワナチャン（チャールパーイーというベッドの足元の網目の少な
い部分）をつくっています。

デヴィー・マーターよ、花でバドワナー（チャールパーイーの網目の多くの部分）をつくっています。

とてもよく眠れます。

マイヤーよ、すぐに、あなたは来てください。マイヤーが眠ります。

バイヤー（兄弟）よ、（マーターの）足を（ベッドに）あげてください、ドゥルガーよ、花を散らし
て広げてください。マイヤーが眠ります。

ナガル（都市）のソナール（金細工師）が来てください。

バイヤーよ、（マーターの）足にグッグル（足首の飾り）をつけてください、アコタリーマイヤー
（ドゥルガー女神）が眠ります。

ナガル（都市）のマリアー（花屋）よ、来てください、バイヤーよ、4つのコーナーの花を散らして
広げてください。7人のバヒニー（姉妹）が眠ります。

(事例 5)

गोरी खाड़ी जमुनवा के तीरे त केवट पुकारै हो ।

केवटा हाली बेगे नइया लेइ अवता परवा उतारा न हो ।

मइया काव देबू परवा उतराई तौ परवा उतारब ।

केवटा दुअरे बहुअवा लेइ आया तौ परवा उतारा ।

मइया अंगुरी में सोहैले मुनरिया गले बीचे हरवा न हो ।

gorī khārī jamunavā ke tīre ta kevaṭ pukārai ho ।

kevatā hālī bege naiyā lei awatā paravā auārā na ho ।

maiṃyā kāv debū paravā utarāi tau paravā utārab ।

kevaṭā duare bahuavā lei āyā paravā utārā ।

maiṃyā angurī me sohaile munariyā gale bhīche haravā na ho ।

गोर्री (肌の白いきれいな女性) が立っています、ジャムナ川の堤に。

ケーワット (ボートマン) を呼んでいます。

ケーワットよ、急いで、ボートを持ってきてください、反対側に降ります。

マイヤー (お母さん) よ、何を与えますか、反対側へ渡す料金として。そしたら、反対側に連れて行きます。

ケーワットよ、ドアレ (入口) に、バファワー (花嫁) を連れてきてください、そしたら、反対側に降ります。

マイヤーよ、指に美しい指輪、首に金の首輪 (を与えます)。

(事例 6)

अरे अरे सगुनी सगुनवा लिहले जाय

पहिला सगुनवा ए सगुनी पंडित लगा जाय

पंडित के पोथिया ए सगुनी होइहै विवाह ।

अरे अरे सगुनी सगुनवा लिहले जाय

दूसरा सगुनवा ए सगुनी कोइरी घरा जाय

कोइरी हरडिया ए सगुनी होइहै विवाह ।

अरे अरे सगुनी सगुनवा लिहले जाय

तीसरा सगुनवा ए सगुनी बजजवा घरा जाय

बजजवा के सडिया ए सगुनी होइहै विवाह ।

अरे अरे सगुनी सगुनवा लिहले जाय

चौथा सगुनवा ए सगुनी मलिया घरा जाय

मलिया मउरवा ए सगुनी होइहै विवाह ।

अरे अरे सगुनी सगुनवा लिहले जाय

पांचवां सगुनवा ए सगुनी धरिकरवा घरा जाय

धरिकरवा डालउवा ए सगुनी होइहै विवाह ।

अरे अरे सगुनी सगुनवा लिहले जाय

छठवा सगुनवा ए सगुनी लोहरा घरा जाय

लोहरा पिडुवा ए सगुनी होइहै विवाह ।

अरे अरे सगुनी सगुनवा लिहले जाय

सतवा सगुनवा ए सगुनी सोनरा घरा जाय

सोनरा गहनवा ए सगुनी होइहै विवाह ।

अरे अरे सगुनी सगुनवा लिहले जाय

अठवां सगुनवा ए सगुनी अहिरा घरा जाय

अहिरा दहिया ए सगुनी होइहै विवाह ।

अरे अरे सगुनी सगुनवा लिहले जाय

नववां सगुनवा ए सगुनी पटहरवा घरा जाय

पटहरवा सिंघोरवा ए सगुनी होइहै विवाह ।

are are sagunī sagunavā lihale jāy
pahilā sagunavā e sagunī paṇḍit lagā jāy
paṇḍit ke pothiyā e sagunī hoihai vivāh ।
are are sagunī sagunavā lihale jāy
dūsarā sagunavā e sagunī koirī gharā jāy
koirī haraḍiyā e sagunī hoihai vivāh ।
are are sagunī sagunavā lihale jāy
tīsarā sagunavā e sagunī bajajavā gharā jāy
bajajavā ke sarīyā e sagunī hoihai vivāh ।
are are sagunī sagunavā lihale jāy
chauṭhā sagunavā e sagunī maliyā gharā jāy
maliyā mauravā e sagunī hoihai vivāh ।
are are sagunī sagunavā lihale jāy
pānchavān sagunavā e sagunī dharikaravā gharā jāy
dharikaravā ḍālavā e sagunī hoihai vivāh ।
are are sagunī sagunavā lihale jāy
chhaṭhāvā sagunavā e sagunī loharā gharā jāy
loharā piṛavā e sagunī hoihai vivāh ।
are are sagunī sagunavā lihale jāy
satavā sagunavā e sagunī sonarā gharā jāy
sonarā gahanavā e sagunī hoihai vivāh ।
are are sagunī sagunavā lihale jāy
aṭhavān sagunavā e sagunī ahirā gharā jāy
ahirā dahiyā e sagunī hoihai vivāh ।
are are sagunī sagunavā lihale jāy
navavāṃ sagunavā e sagunī paṭaharavā gharā jāy
paṭaharavā singhoravā e sagunī hoihai vivāh ।

アレ、アレ、サグニ（吉なること）、サグナワー（吉なる時間）をもって行ってください。
最初に、サグナワーにサグニが、パンディットのところに行ってください。
パンディットのパットラ（経文）で、サグニ、結婚ができます。
アレ、アレ、サグニ（吉なること）、サグナワー（吉なる時間）をもって行ってください。
2番目に、サグナワーにサグニが、コイリー（油売りカースト）の家に行ってください。
コイリーがターメリックを植えています、結婚ができます。

アレ、アレ、サグニ（吉なること）、サグナワー（吉なる時間）をもって行ってください。

3番目に、サグナワーにサグニが、バジャナワー（布を売る人）の家に行ってください。

バジャナワーのサリーで、サグニ、結婚ができます。

アレ、アレ、サグニ（吉なること）、サグナワー（吉なる時間）をもって行ってください。

4番目に、サグナワーにサグニが、マリアー（花屋カースト）の家に行ってください。

マリアーのマウリヤー（王冠）で、サグニ、結婚ができます。

アレ、アレ、サグニ（吉なること）、サグナワー（吉なる時間）をもって行ってください。

5番目に、サグナワーにサグニが、ダリー・カラワー（籠をつくるカースト）の家に行ってください。

ダリー・カラワーのダラウワー（花嫁に贈物を入れる籠）で、サグニ、結婚ができます。

アレ、アレ、サグニ（吉なること）、サグナワー（吉なる時間）をもって行ってください。

6番目に、サグナワーにサグニが、ロハール（鍛冶屋カースト）の家に行ってください。

ロハールのピラウワー（花婿と花嫁が座る板）で、サグニ、結婚ができます。

アレ、アレ、サグニ（吉なること）、サグナワー（吉なる時間）をもって行ってください。

7番目に、サグナワーにサグニが、ソナール（金細工師カースト）の家に行ってください。

ソナールのガハナー（花婿から花嫁に贈る飾り物）で、サグニ、結婚ができます。

アレ、アレ、サグニ（吉なること）、サグナワー（吉なる時間）をもって行ってください。

8番目に、サグナワーにサグニが、ヤーダブ（牛飼いかースト）の家に行ってください。

ヤーダブのダヒー（ヨーグルト）で、サグニ、結婚ができます。

アレ、アレ、サグニ（吉なること）、サグナワー（吉なる時間）をもって行ってください。

9番目に、サグナワーにサグニが、パタハラワー（ジャイトゥア祭の紐売りカースト）の家に行ってください。

パタハラワーのシンドゥール（結婚の印の赤い粉）で、サグニ、結婚ができます。

（事例 7）

पूरब हो देशवा से आवला बभनवा हो हथवा हरदिया केरी गांठ ।

बैठा बैठा बभना हो चन्दन पिठुवा हो कहा नैहरवा कुशलात ।

तोहरे नैहरवा ए बेटी सब कुशलति या हो तुहरे जे भइया के विवाह ।

पजरे जे बैठनी सासु बढहतिन सुना सासु अरज हमार ।

अब कीना सासू हो हमै एक सडिया हो भैया नेवातवा हम जाब ।

भइया के अंगने चन्दन रूप पेडवा हो अचन बिछन भइनी डारि ।

अटकलि डनिया फटेले भिनसरवा हो सासू जबबवा केस देय ।

काहे बेटी उरुझरू काहे बेटी मन गमगीन ।

अपने मै बेटी के एस के सवरवो हो जैसे गवनवा दोगे जाय ।

pūrab ho deśhavā se āvalā vabhanavā ho hathavā haradiyā kerī gānṭha ।

baiṭhā baiṭhā babhanā ho chandan piṭhauvā ho kahā naiharavā kuśalāt ।

tohare naiharavā e beṭī sab kuśalati yā ho tuhare je bhaiyā kai vivāh ।
pajare je baiṭhanī sāsū baṛhatin sunā sāsū araj hamār ।
ab kīnā sāsū ho hamai ek saṛiyā ho bhaiyā nevātavā ham jāb ।
bhaiyā ke angane chandan rūp pēṛavā ho achan bichhan bhainī ḍāri ।
aṭakali ḍaniyā phaṭaile bhinasaravā ho sāsū javabavā kes deya ।
kāhe beṭī urujhuru kāhe beṭī man gamgīn ।
apane mai beṭī ke es kai savaravo ho jaise gavanavā donge jāy ।

東の国の方から来ています、パンディットが。手に1つのハルディ（ターメリック）をもって。
すわって、すわって、パンディットよ、チャンダン（ジャクダン）の根元に。言ってください、ナイ
ハル（実家）はどうですか。

あなたのナイハルは、ペーティ（娘）よ、すべて大丈夫です。あなたの兄弟の結婚があります。
そばにすわって、年配のサースー（姑）よ、聞いてください、姑よ、私の願いを。

今、言います、姑よ。私に1つのサリーを（ください）、バイヤー（兄弟）のネオタに、私は行きます。
す。

バイヤーのアンガン（中庭）に、チャンダンの木、あっちこっちに枝が伸びています。

重なった枝が折れました、早朝に、姑よ、答えを何かください。

ペーティ（娘）よ、なぜ、沈んだ顔なのですか、なぜ、心から悲しいのですか。

自分のペーティのように着飾りなさい、ゴウナー、ドーゲーに行きなさい。

(事例 8)

राम लखन दोनो घर से निकर नै चलि गइनै अपने ससुरार ।

चलत चलत पहुचे गांवा के गोयड़वा हो ।

आपस में कइनै बिचार शुभ कै सेनहुरवा तौ घर ही भुलइली सीता वियहि के से जाय

राम लखन दोनो घोरवा सजवनै चलि गइनै अपने ससुरार ।

चलत चलत पहुचे गांवा के गोयड़वा हो ।

आपसे में कैनै बिचार शुभ कै चुनरिया भैया घरही भुलइनी सीता वियहि के से जाय

राम लखन दोनो घोरवा सजवनै चलि गइनै अपने ससुरार ।

Rām Lakhan dono ghar se nikar nai chali gainai apane sasurār ।

chalat chalat pahunche gāṃvā ke goyaṛavā ho ।

āpas me kainai bichār śubha kai senhuravā tau ghar hī bhulaiī Sītā viyahi ke se jāy

Rām Lakhan dono ghoravā sajavānai chali gainai apane sasurār ।

chalat chalat pahunche gāṃvā ke goyaṛavā ho ।

āpas me kainai bichār śubha kai chunariyā bhaiyā gharahī bhulainī Sītā viyahi kai se jāy

Rām Lakhan dono ghoravā sajavānai chali gainai apane sasurār ।

ラーム、ラチマン、2人とも家からでました。行きました、自分のサスラール（相手の家）に。歩いて、歩いて着きました、村の近くに。

2人とも考えました、めでたいシンドゥールを家に忘れてきました。

シーターはどのように結婚するのでしょうか。

ラーム、ラチマン、2人とも飾りをつけた馬で行きました、自分のサスラールに。

歩いて、歩いて着きました、村の近くに。

2人とも考えました、めでたいサリーを家に忘れてきました。バイヤー（兄弟）よ。

シーターはどのように結婚するのでしょうか。

ラーム、ラチマン、2人とも飾りをつけた馬で行きました、自分のサスラールに。

歩いて、歩いて着きました、村の近くに。

(3) ウルド・チャーワル・チャンナー儀礼終了後、作業をするときにうたわれた民俗歌謡

事例9は、花嫁側の親族女性が、家屋のなかで、吉兆とされるウルド豆を臼でひくときにうたった歌である。事例10は、マングップと呼ばれる結婚式場に据え付ける炬をつくるために、泥藁を混ぜるときに女性たちがうたった歌である。いずれも、花嫁の親族や近所の女性など、その場に参加している女性の名前を即興で入れてうたっている。チナロは、ブラブラ遊んでいる女性をさし、からかいを含んだ歌である。ちなみに、事例9には、私の名前も入っている。

(事例9)

चरर चरर करै चकिया तौ उरुद छुवावै ।

बेचन छिनरो गोतिनी बोलावै तौ उरुद छुवावै ।

कंचन छिनरो गोतिनी बोलावै तौ उरुद छुवावै ।

फूलमती छिनरो गोतिनी बोलावै तौ उरुद छुवावै ।

इन्दू छिनरो गोतिनी बोलावै तौ उरुद छुवावै ।

अरे यूको छिनरो गोतिनी बोलावै तौ उरुद छुवावै ।

charar charar karai chakiyā tau urud chhuvāvai ।

Bechan chhinaro gotinī bolāvai tau urud chhuvāvai ।

Kanchan chhinaro gotinī bolāvai tau urud chhuvāvai ।

Phūlmatī chhinaro gotinī bolāvai tau urud chhuvāvai ।

Indū chhinaro gotinī bolāvai tau urud chhuvāvai ।

are Yūko chhinaro gotinī bolāvai tau urud chhuvāvai ।

チャラル、チャラルと臼をまわします、ウルド豆をひきます。

ベチャン（花嫁の父の兄弟の妻、シーターラームの母）チナロが、近所の女性を呼びます。

ウルド豆をひきます。

カンチャン（花嫁の甥の妻、ジャヤラームの妻）チナロが、近所の女性を呼びます。

ウルド豆をひきます。

フルマティー（花嫁の兄の妻、オキールのマミィ、叔母）チナロが、近所の女性を呼びます。

ウルド豆をひきます。

インドゥー（隣の家の女性）チナロが、近所の女性を呼びます。

ウルド豆をひきます。

アレ、ユーコ（私）チナロが、近所の女性を呼びます。

ウルド豆をひきます。

（事例10）

के मोरे गोतिनी बोलावै तौ मटिया छुवावै तौ चुल्हिया डरावै ।

अरे इन्दू छिनरो गोतिनी बोलावै तौ चुल्हिया डरावै ।

माधुरी छिनरो गोतिनी बोलावै तौ चुल्हिया छुवावै ।

किरन छिनरो गोतिनी बोलावै तौ मटिया छिवावै ।

कंचन छिनरो गोतिनी बोलावै तौ चुल्हिया डरावै ।

सुशीला छिनरो गोतिनी बोलावै तौ चुल्हिया डरावै ।

उर्मिला छिनरो गोतिनी बोलावै तौ चुल्हिया डरावै ।

बेचन छिनरो गोतिनी बोलावै तौ चुल्हिया डरावै ।

ke more gotinī bolāvai tau maṭiyā chhuvāvai tau chulhiyā ḍarāvai ।

are Indū chhinaro gotinī bolāvai tau chulhiyā ḍarāvai ।

Mādhurī chhinaro gotinī bolāvai tau chulhiyā chhivāvai ।

Kiran chhinaro gotinī bolāvai tau maṭiyā chhivāvai ।

Kanchan chhinaro gotinī bolāvai tau chulhiyā ḍarāvai ।

Suśīlā chhinaro gotinī bolāvai tau chulhiyā ḍarāvai ।

Urmilā chhinaro gotinī bolāvai tau chulhiyā ḍarāvai ।

Bechan chhinaro gotinī bolāvai tau chulhiyā ḍarāvai ।

誰が私の近所の女性を呼びますか、泥をさわって、炬をつくります

アレ、インドゥー（隣の家の女性）チナロが呼んでいます、炬をつくります。

マードゥリー（花嫁の甥の妻、マンの妻）チナロが近所の女性を呼んでいます、炬をさわります。

キラン（隣の家の女性）チナロが近所の女性を呼んでいます、泥をさわります。

カンチャン（花嫁の甥の妻、ジャヤラームの妻）チナロが近所の女性を呼んでいます、炬をつくりま
す。

スシーラー（花嫁の甥の妻の姉妹、マードゥリーの姉妹）チナロが近所の女性を呼んでいます、炬を
つくります。

ウルミラー（花嫁の甥の妻、ラディシャームの妻）チナロが近所の女性を呼んでいます、炉をつくり
ます。

ベチャン（花嫁の父の兄弟の妻、シーターラームの母）チナロが呼んでいます、炉をつくり
ます。

本稿では、シャーディーの1日目の儀礼について民俗歌謡を紹介したが、今後は、4日目以降の儀
礼や、婚姻儀礼の期間に、毎晩、女性たちによってうたわれた民俗歌謡を紹介したい。

〈参考文献〉

Archer, C.

1985 *The Songs of the Bride*. New Delhi: Vikas Publishing.

Henry O. Edward

1988 *Chant The Names Of God: Musical Culture In Bhojpuri-speaking India*. San Diego: San Diego State
University Press.

Freed R.S. & Freed S.A..

1980 *Rites of Passage in Shanti Nagar: Anthropological Papers of the American Museum of Natural History*.
Volume 55. Part 3.

Singh, C.

1979 *Marriage Songs from Bhojpuri Region*, Jaipur: Champalal Ranka and Company.

八木祐子

1990a 「婚姻儀礼と女性の歌—北インドの村から—」八木祐子編『女性と音楽』（民族音楽叢書 第2巻）57-
76頁 東京書籍

1990b 「シーターの夢—婚姻儀礼の歌にみられる家族関係—」八木祐子編『女性と音楽』（民族音楽叢書 第2
巻）175-199頁 東京書籍。

1991 「儀礼・職能カースト・女性—北インド農村における通過儀礼と吉・凶の観念—」『民族学研究』56巻2
号 181-208頁

1992 「女性・歌・パフォーマンス—北インド農村の婚姻儀礼をめぐる一試論—」『南アジア研究』第4号 59-
78頁

1999 「結婚・家族・女性—北インド農村社会の変容—」窪田幸子・八木祐子編『社会変容と女性：ジェンダ
ーの文化人類学』ナカニシヤ出版 36-65頁

2008 “Women, Abuse Songs and Erotic Dances: Marriage Ceremonies in Northern India”, *In Music and
Society in South Asia: Perspectives From Japan*, Osaka: National Museum Ethnology.

2010 「チャイからコーラへ—北インド農村における婚姻儀礼の変化—」『南アジアの社会を読み解く』鈴木正崇
編 慶応大学出版会 85-107頁

2015 「アザムガルの民俗歌謡—婚姻儀礼と女性の歌—」『多民族社会における宗教と文化』No.19 宮城学院女
子大学キリスト教文化研究所 37-52頁

〈参考資料〉

（写真1～3）右側にすわっている花婿側の男性2人に、ダヒーを食べさせている間に〈写真1〉、家の中で花嫁の親族の女性たちが、事例1～3の歌をうたった〈写真2〉。

〈写真1〉



〈写真2〉



（写真3～6）ウルド・チャーワル・チャーナー儀礼で、ウルド豆を箕で振り分ける近所の女性たちと、髪分け目に既婚女性の印である赤い粉を参加した女性たちに塗る花嫁の義理の姉〈写真3〉、コメを箕で振り分ける近所の女性たち〈写真4〉。事例4～8の歌をうたう女性たち〈写真5〉、村中から女性たちが集まって儀礼をおこなっている様子〈写真6〉。

〈写真3〉



〈写真4〉



〈写真5〉



〈写真6〉



(写真7~8) 結婚式場に設置する炉をつくるために、花嫁の親族の女性たちが泥藁を混ぜ 〈写真7〉、炉の形をつくるときに 〈写真8〉、事例9~10の歌を女性たちがうたう。

〈写真7〉



〈写真8〉

